

# 氷川瑣言

## 比路志生

### 道路の利用運用を如何にすべきか

道路の改良、修築、維持保全等に關しては内務省國土局に於て之を掌理するが鐵道省業務局は専ら鐵道軌道自動車等運輸を支配するのである、然るに近時の如く運輸に關しても統制策が講ぜられることとなつた。

戦時の事象として特に陸運陸路打開と云ふことが唱へらるるが蓋し此方策は主に鐵道省に於て考究調査するが故に況く道路の運用利用に關しては我れ關せずと云ふが如き態度に出づることがないであらうか、鐵道を整備すれば整備する程、驛の貨物集散に意を用ゐなければならぬのは言ふまでもない、而かも貨物集散は主として道路の利用運用に俟たざるを得ない、トラツクの運轉やオートバイの運走、荷車の運輸等皆道路に依りて其の便を得るのである。然らば道路の改良、修築維持保全に伴ふて其の破壊力を有

する陸上運輸機關の運用方法とにらみ合せて考究する處がなければ陸運陸路の打開は完璧を期し難いのである。吾人は私かに思ふに鐵道省に於て折角陸運陸路の打開を策せらるゝに於ては内務省との連絡を完全にし、内務省をして獨り道路の改良、修築維持保全を營ましむるのみでなく、之れと共に貨物を迅速圓滑に運送し得る等其の運用利用に關しても大に力を致さしむることが時局柄問題ではなからうか、内務省國土局に於ても茲に其の力を致され道路の使命を完ふせしむべきではなからうか、吾人の憂慮する問題の一端を述べて敢て當局の指導を待つものである。

### 軍官民の一體化はなぜ出來ぬか

吾人が軍、官、民といふ差別的觀念があつては大東亞戰を勝ち抜くことは困難である。軍、官、民一致とか協力とかいふ標語は不必要である否斯る言葉の存するは戦時の眞の姿といふことは出

來ないと屢々言へる處であるが、永井柳太郎氏は「官吏と人民との一心一體一億敢闘熱意に燃えて戦力増強に協力し云々」と述べられ所謂總力戦の意義を明かにせられたが、更らに陸軍兵器行政本部總務部長管晴次陸軍中將は新聞記者團と會見の際、「一番大事なことは研究とか生産とか整備とかいふ方面でも、その根本はやはり精神力である、如何なる困難をも克服して所謂不可能を可能とし、無より有を作るには人の努力と創意工夫といふことより外ない。精神力を發揮するに當り最も大事なことは軍も官も民も本當に心から一致結束して、所謂國家の總力をあげるといふことである、之は以前から唱へられてゐる總親和的の程度ではもはやいけぬ、いけぬのではないかと思つてをる。お互に協力とか一致とかいふことは各自が自分の任務さへ忠實にやつてをれば夫れが自然的に相互の協力一致になるといふやうに従來云ひならはされ、又さう指導されて來たが今はさうではない、眞に團結協力するには各自が犠牲的精神をもつて自分を無にする、小我をすて、大我につくといふ氣持、これが最も大事なことだと思ふ」と言はれた。此の軍、官、民の一如論は吾人の意見とピタリと一致する、云はないことぢやない。軍、官、民の差別的觀念を醸成せしめたものは何か、何がさうさしたか、其の病源をつきとめ、其の癢を排除することが最も緊迫せる療法であると思ふ如何。

### 東京都は交通機關の従業員を如何に教訓鍊成するか

乗客に對しては親切丁寧を以て應接すべしとは電車自動車の従業員に向つての訓成の言葉で又耳にたこの出来る程聞かざるゝ句である。吾人は斯くあるべきことを期待する。然るに九月一日午後二時二十分頃五反田より築地に向ふ電車に霞ヶ關にて乗車した、電車の番號は千二號である。満員でもないのに車掌は無帽の儘切符を切りに來りもせず銀座前にて余は車掌臺近くに行き上野へと切符を差出したるに車掌は之れを受取りカバンにボンと投入れベンチをいれやうとせず他の乗客に切符を賣り、又ベンチをいれて一向に返さない、仍て余は早く切つて呉れと云へば降ると云ふ、電車を下りて待てども更らに切符を渡さうともしない、順に切つて呉れと二三度云へば待てといふ、其の内十餘名の切符を渡し最後に何處へと問ふにより上野へと答へれば直に切符を返しながら「貴様のやうなのは個人主義だ馬鹿野郎」と叫んだのである、何に昂奮しての事か昂奮すべき理由もなきに斯る暴言を以てしたか、電車は發車した。實に何んと云ふ暴狀か、東京都交通局は従業員を如何に教訓鍊成してをるか疑ひなきを得ない。他の公營交通機關の従業員は如何に之を見るか。

## デモクラチツクな地方自治論者に

### 反省を求む

『地方自治の場合こそは言葉通りに「人民のためにする、人民自身によつて行はるる、人民自身の政治」と稱し得るのではないか  
さきに、自治は立憲政治以上に、被治者をして治者たらしむるものであるというたのは、この理に由る』とは前田多門氏が朝日公民讀本に於て明確に説述された處である。是れ果して妥當の言であらうか、敢て言ふならば地方自治とは其の團體員全體をして被治者たらしむると同時に又治者たらしむる政治即ち團體全員の公同政治と稱すべきもので被治者をして治者たらしむる制度なりと謂ふを得ざるものである。何を苦しんで前田氏は斯く説明せらるるや、我邦の地方自治を米や英や佛の如く民衆政治流に解して、デモクラチツクな政治なりと解せらるるが、嚴密に言へば日本帝國の統治上許容せられたる限度に於て地方自治は公同政治なりと謂ひ得るが故に治者もなければ被治者もないのである。たとへば市長町村長が法の命する所に従ひ事務を處理するとも直ちに以て治者なりと云ふを得ない、市會町村會が其の權限に依り事を決議すとして之を治者なりと即斷するは失當である、之れをしも治者なりとするは歪曲せる見解である。地方自治制度の何處に斯の如き見解を下すべき餘地ありや、前田多門氏及同氏と見解を同じくす

る學者政治家は須らく反省三思せらるべきか。

### 民心の安定は政策の徹底に在る

國民生活上至便至利を可成的企圖し之を實行する方策を樹つることが政府者の任務である。國民をしてたとへ戦時に於て最少限度の生活にても之に安んぜしむることを旨として行政しなければならぬ。乏しきに耐へ、困難に打ち勝つことの一方法として昨今手持品の更生代用品の使用が提唱せられて居る。勿論今日無闇と新しい物を買ひ込むことの不均なことは言ふを俟たないが、夫にしても買ふ代用品の何んと高價なることか、修繕料の何んと高いことか試に靴を買はんか一週間履けば底に穴のあく紙底のものが十五、六圓もする、これではひどいではないかと文句を言へば今の品物はそんな物ですよとあつさりした答である。斯様な状態に在らしむることは行政上許すべからざることではあるまいか。時局下物の不足して居るにつけて今で此際一儲けしようとする人間を絶滅する方法はないものか、斯んな連中の忠誠に期待して居たら此先どうなるか、國民道徳とか商業道徳とか利慾の抑制とかを心掛けしむべき責任は何人が負ふべきか當局の考慮を求めざるを得ない心持がする。

神官も僧侶も牧師も皆眼より醒めよ

平安末期には倫理も道徳も頽廢して地に委し世紀末的な自棄的音楽藝術に墮したが昭和の六、七年頃と同様の觀がある。而かも人の愚は豫知し得ざるに元寇の戦は將に來らんとしてをる。此秋天は偉大なる宗教家道元を出でしめた、法然、親鸞、日蓮などの傑僧も相次で輩出し、武士の企て及ばざる國民の運命に處するの途を説いた。國民の墮落を教へた。國民の志氣を昂揚した。國民の倫理道徳を向上した。國民の元氣を鼓舞した。國民の精神をゆすぶり動かした。夫れで武士も謙虚に政治の要諦を悟ることとなつた。儒夫も奮起した、國民の意氣は燃えた、爲めに神祐天助とは言へ元寇の戦は我が勝利に歸し勝ち抜いたのである。今や時代は決戦時下統制經濟期に突入し、自由經濟時代は過ぎ去り、ふるき道徳はすたり、倫理も紊れたるの感ありて寔に憂慮せらるるの秋である、官吏も之を如何ともする能はず、教育家も詮方盡きて爲す能はざるに至つたと疑はる。此際救國の策如何。宗教家の起つべきは今日である。然るに今の宗教界は如何、眠れるか、死せるか將又宗教家自ら其の存在を抛棄せんとするか。何を夢みつゝあるか、徒らな空説法は無益である、空漠なる教理は無駄である宗教家は奮ひ起つて陣頭に立たねばならぬ、國亂れて忠臣は顯はる、國難生じて宗教は活きる、長夜の眠より目覺めるは今日である。

聲なき聲に聞けよかし

八月十五日のA新聞にあつた農大報國隊員の「農民に地下足袋を」との説を讀んで某農夫は「農夫である私はよくぞ御氣づきになられたと心から感謝申し上げます、今まで農村へ激勵乃至は視察に御出になられた御役人も數多いが切實な農民の欲求をこの鹽大生の如く純粹に感得せられた方が果して幾人あつたでせうか。農村へ慰問用の繪本を御送り下さる御厚意には本當に感謝申し上げます。然し私達が今最も欲してをるものはゴム靴と地下足袋です私達農夫の足は特別頑丈であるとはいへ、炎天下灼熱の地面を素足で踏むことは相當の苦痛です。けれども冬の凍りついた地面は絶對素足で踏めません、夏はブヨや蚊の苦痛を忍ぶことにして一足の地下足袋を超重點的に使用してをるわけです。而もその一足もすり減つてゐます。可成早急に一年一足の配給が實現せらるることを切望いたします。夫が何より効果のある増産激勵ですとの投書をしたが更らに、「役人が陳情の應接に暇なく、またその對症療法に寧日なきやうでは、政治の貧困と云はねばならぬ。聲なき聲を聽いて適切なる施策を斷行することこそ政治の要諦であると思ふ。曩に慶大生が「地下足袋を」といふ胸を打つ一文を寄せてゐたが、あれこそ本當の農村生活を全身的に體得した叫びである黙々として働く農民の心の聲を遺憾なく傳へてゐると思ふ」と聲なき所に聲を聞いてもらいたいとの意見である。吾人も亦かゝる意見は翼賛會協議會の席上の大聲叱呼の聲はともかく矢張聲なきに聽かざる聲でなくてはならぬと思ふ。